

■認知症の人への接し方

「認知症の人は自覚がない」は大きな間違いです。認知症の人が自らの変化に戸惑い、不安を感じながら生活していることを、十分に理解して接することが重要です。

～接し方のポイント～

- 言うことを否定しない
- 話題や場面を変えて、関心をそらせる
- 認知症の人の認識(世界)に合わせる
- 叱らない、説得しない
- 失敗しないような状況(環境)をつくるなど

行動の動機や背景を考
えて対応しましょう



～こんな時はどうする？①～

「ごはんを食べていない」と言う

「今準備しますね」などと言い、ひとまずフルーツなどを渡したり、あらかじめ食事の量を減らし、後でおにぎりなどを出すなどの対応がよいでしょう。

「さっき食べたでしょ」
は逆効果！



～こんな時はどうする？②～

「財布を盗られた」と言う

家族が見つけてしまうと「やっぱり盗んだのか」と思い込む場合があります。まずは共感し、本人と一緒に探してあげましょう。

本人が自分で見つけ
ることができる
工夫をしましょう



～こんな時はどうする？③～

一人で出かけようとする

認知症の人は時間の感覚が昔に戻り、生まれ育った家や会社に行こうとする場合があります。しばらく外を一緒に歩き、折を見て帰るよう誘導しましょう。

名前や連絡先を衣類などに縫い付けておくのも大切！



困ったことがあれば相談を

◆高齢者サポートセンター (古河市地域包括支援センター)

地域で暮らす高齢者のための「総合相談窓口」です(市内3カ所に設置)。認知症地域支援推進員が、認知症の人やその家族に対する支援・相談業務を行っています。

「家族が認知症かもしれない」「面倒を見るのが負担になっている」と思ったら、ぜひご相談ください。

◆在宅介護支援センター

市が委託している「高齢者やその家族等の身近な相談窓口」です(24時間365日相談可能)。お住まいの地区の支援センターに介護保険や高齢福祉サービス、認知症のことなど何でもご相談ください。

高齢者サポートセンター、
在宅介護支援センターの詳細はQRコードからアクセス

